

2025（R7）年度 豊岡小学校学校経営方針

※今後、実態に応じて一部変更することがあります。

学校教育目標

学校教育目標

在りたい自分を創る主人公

第4期ひょうご教育創造プラン

第5次とよおか教育プラン

豊岡南中校区小中一貫教育

学校教育目標の実践構想図

目標	在りたい自分を創る主人公		
資質能力	考える力・自律する力・つながる力 (やりぬく力) (自制心) (協働性)		
目指す児童像	○自分と向き合い（自己理解）、他者とつながる（他者理解）ことで、自分（他者）の良さを自覚し、在りたい自分を自分に問いながら自分で育てていく子ども ○やり抜く力（主体性・自己肯定感）、自制心（自己コントロール）、協働性（コミュニケーション能力）を高める子ども⇒「在りたい自分」を支える力		
	他者や自己と対話し、自ら考えをつくる「あたまの力」 ・思考法と論じ方の活用 ・他者理解と自己への気づき ・探究的な学び方	在りたい自分と向き合い、他者とつながる「こころの力」 ・他者への尊重、肯定的関与 ・自己内対話と自己肯定感 ・目標達成のための協働	心身の健康を自分でつくる「からだの力」 ・よりよい生活を自ら創る ・自己の心身に気づく ・他者援助を適切に受ける
目指す学校像	○全ての教育活動で子どもを大切に（考えを創らせる、選択させる、決定させる）、「在りたい自分づくり」を応援する学校 ・子どもにとって「安心して学び、楽しく過ごせ、大切にされている」学校 ・保護者にとって「安心して通わせ、相談できる」学校 ・教職員にとって「同僚と学び合え、働きがいのある」学校 ・地域住民にとって「行ってみたい、応援したい、参加したい」学校		
目指す教師像	○子ども一人一人のよき伴走者、理解者（話を聴く・肯定的関与・子どもを大切にする） ○子どもに信頼される教師（子ども一人一人との関係性を向上させる教師） ○子どもの考えを受け止め、一緒に考える教師		
指導の重点	☐ 比較・分類・関連付け等の思考法活用 ☐ 考え・理由付け・根拠等の論じ方の活用 ☐ 活用や探究を通じた知識・技能の定着 ☐ 学びに向かう力の育成を大切にした授業づくり	☐ 教師による肯定的な関与、寄り添いの質の向上 ☐ 他者理解を通して、他者と自己を尊重する力の育成 ☐ 自己内対話を通して自己への気づきと在りたい自分に向き合う力の育成	☐ 一人一人の子どもの心身の状態の把握 ☐ 子どもが自己の心身の状態に気づく取組 ☐ 適切に他者の援助を受けながら自立を促す ☐ 基本的生活習慣の確立

実践における理念	～肯定的な関わりの中で、在りたい自分を創る主人公に育てる～
	1 子どもの事実に学び、教師の寄り添いの質を高める (1)子どもをていねいに「観る」、子どもの言葉を「聴く」、子どもの内面を深く「想像する」。 (2)結果よりも「過程（プロセス）」を見とる。プロセスを意味づけ、価値づける。 (3)「授業で子どもを大切にすること」のイメージを共有する。 (4)常に「子どもは今、何を獲得しようとしているか」という視点を大切に、教師の関与の質と量をコントロールしながら教育活動に取り組む。 (5)ほめる、認める、ともに喜ぶことで、在りたい自分への気づきを促す。
	2 授業で子どもを大切に、授業づくりを通して、子どもと子ども、子どもと教師の関係性の向上を図る（授業づくりと学級づくりの一体化） 【学習指導】～在りたい自分を伸ばす「学びがある」授業づくり～ (1)一人一人の子どもの学習状況の把握と具体的手立て、協働的な学びの目的と手段の明確化 (2)思考力、判断力、表現力向上のための思考法や論じ方の効果的活用 (3)理解（インプット）と表現（アウトプット）を連動させた授業づくり (4)授業で育む自己選択・自己決定・自己内対話の力（＝主体的・対話的で深い学び） 【学級経営】～共感的理解と支持的風土のある学級づくり～ (1)どの子も授業に参加し、安心して学べる学級づくり (2)特別な支援を要する児童をはじめ、他者を理解することが大切にされ、他者と自己への気づきが促される学級づくり (3)やり抜く力、自制心、協働性など非認知能力が向上する集団での活動の促進 (4)子どもが、担任や学年団、その他の教職員に相談しやすい人間関係づくり
	3 チームで子どもを育てる（子どもの見方を重ね合わせ、同僚性を高める） (1)教職員一人一人の持ち味、専門性、強みを活かした組織運営 (2)子どもの見方を重ね合わせ、同僚と学び合う教職員集団 (3)発達支持的生徒指導（全児童対象・教師の肯定的支援）の充実に向けた生徒指導の展開
	4 家庭・地域との連携を図る (1)子どものよき理解者、支援者としての保護者との連携、情報交換 (2)子どもの自律に向けた学習習慣と生活習慣の向上 (3)地域ぐるみで「地域とともにある学校づくり」を進める学校運営協議会の運営 5 ワーク・ライフ・バランスを大切にした持続可能な働き方改革を進める職場環境づくり (1)定時退勤日の確実な実施 (2)学校評価に基づく業務改善の推進 (3)年休等各種休暇が取得しやすい職場環境づくり

【各分掌提案の留意事項】

- 1 学校教育目標を必ず位置づけ、各取組と関連させる（「在りたい自分」という言葉を適切に使う）。
- 2 兵庫県教育委員会発行の「指導の重点」「第5次とよおか教育プラン 2025 実践計画」を踏まえる。
- 3 実践構想図の「資質能力」「目指す児童像」「指導の重点」を関連付ける。